

2026年5月13日

各位

会社名 ジャニス工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 富本 和伸  
(コード番号 5342 名証メイン市場)  
問合せ先 経営管理室長 都築 佳男  
(電話 0569-35-3150)

### 株主提案に対する当社取締役会意見に関するお知らせ

当社は、株式会社ニッソウ（以下、「提案株主」）より、2026年6月25日開催予定の当社第92期定時株主総会（以下、「本株主総会」）において、株主提案（以下、「本株主提案」）を行う旨の書面を受領していましたが、本日開催の当社取締役会において、本株主提案に反対することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 本株主提案の内容

##### (1) 議題

第4号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）1名選任の件

##### (2) 議案の要領及び提案の理由

別紙（本株主提案の内容）に記載のとおりです。

なお、提案株主から提出された本株主提案の書面の該当箇所を原文のまま掲載しております。

#### 2. 本株主提案に対する当社取締役会の意見

##### (1) 当社取締役会の意見

当社取締役会は、本株主提案に反対いたします。

##### (2) 反対の理由

① 当社は、これまでの経歴・実績・見識・人格等を総合的に勘案し、当社に相応しい経営陣幹部の選任や取締役の選任候補者の指名を取締役に決定しております。

② 当社は、2023年3月期から4期連続の営業損失・経常損失であり、最近の中東情勢も含め、資材価格・燃料の高騰から製造原価低減を進めることができなかつたのも事実であります。しかしながら、当社では、その間に外部機関も活用した生産性向上での生産体制の見直しを実施し、製造原価低減、収益性向上を進めており、また売上高は増収と営業施策は確実かつ適切に進めてきた認識であります。現在、2027年3月期の業績回復に向け邁進しており、その方向性を維持すべく、会社提案の取締役会体制が適任であると考えております。

③ 当社は、「高付加価値商材による新規チャネル開拓と非住宅・リフォーム市場の拡販による売上げの確保」「生産性向上を意識した生産体制の再構築」「生産コストからの適正な販売価格の見直し」「連結子会社事業の継続判断」等の施策を実施しております。特に提案株主の本業であるリフォーム市場の拡販については、当社としては現在の施策を進めるにあたり影響があると考えておりますので、会社提案の取締役会体制が適任であると考えております。

④ 以上の理由から、当社取締役会としては、当社が本株主総会で提案予定の新取締役会の体制こそが、当社の業績回復・企業価値向上となる最も適切な体制と判断し、本株主提案には反対いたします。

## 別紙 本株主提案の内容

### 1. 提案する議題

取締役（監査等委員である取締役を除く）1名選任の件

### 2. 提案する議案

#### (1) 議案の要領

前田 浩を取締役（監査等委員である取締役を除く。）として選任する。

#### (2) 提案する理由

当社の業績は、2023年3月期以降営業赤字、経常赤字の状況にあります。当社の業績を回復し、黒字を達成するために、候補者を当社の取締役に加えることが当社にとって価値あるものと考えます。

現在の当社の取締役に外部の経営の専門家が1名もいません。また、当社の主要取引先であるタカラスタダード株式会社からの受注が、今後大幅に減る可能性が高く、さらに厳しい経営環境の下、業績悪化の拡大が懸念されます。近年の当社の決算の状況をみるに、現状の経営陣では業績回復を果たせないと考えております。

候補者は、建築業界に明るく、また自身の創業した会社の上場を成功させてきた経営のプロであり、候補者が当社取締役会の一員になることにより、業績回復の一翼を担えると確信しています。

候補者は、当社取締役に就任した暁には全力で当社に営業施策やアイデアを含めた経営アドバイスをする意向であり、また役員報酬も交通費も一切受け取らない所存です。

当社役員に外部の経営専門家である候補者を加えることにより、業績の回復を目指していきたいと考えています。

### 3. 候補者の略歴等

氏名 (生年月日)	略歴、地位及び担当並びに重要な兼職の状況	所有する当社の株式数
まえだ ひろし 前田 浩 (1961年12月 12日生)	1980年2月 カナエプロダクション株式会社所属 1987年1月 クリエイティブリフォームオフィスマエダ創業 1988年9月 株式会社ニッソウ設立 同社代表取締役社長就任（現任） 2025年9月 株式会社ささき代表取締役会長就任（現任）	100株

以上